令和９年度　島根県教育職員（実習助手）採用候補者選考試験問題

工業実習に関する実技　建築

| 受　験　番　号 |
| --- |
| |

1　課題　「自動レベルの据え付けと視準」

自動レベルを三脚に据え付け、整準を行った後、指定されたＡ点、Ｂ点、Ｃ点の標尺を視準して目盛りを正確に読み取り、解答用紙に記入する。記入後、試験員の確認を受けた後に片付けを行う。ただし、作業手順に従って行い、作業時間は片付けを含めて 20 分とする。

2　準備されているもの

自動レベル、三脚

Ａ点、Ｂ点、Ｃ点の標尺（あらかじめ指定の位置に設置済み）

3　作業手順

（１）すえつけ

三脚の頭部がほぼ水平で、胸の高さ程度になるように三脚を均等に開いて、指定された位置に設置する。自動レベルを三脚の頭部に固定する。

（２）水平（整準）

整準ネジを使って、円形気泡管の気泡を中央に入れる。

（３）視準

ピープサイト（望遠鏡付きの照星・照門）をのぞいて、望遠鏡の方向を標尺にだいたい合わせ、固定ねじを締め付けて固定し、標尺へのピントを合わせる。微動ねじで十字縦線を標尺の中央に合わせる。

（４）標尺の読取り

最初にＡ点の標尺の目盛を正確に読取り、解答用紙に記入する。次にＢ点、その次にＣ点の順番に標尺の目盛を正確に読取り、解答用紙に記入する。

（５）試験員の確認

Ｃ点の解答用紙への記入が終了後、手を挙げ、試験員に合図をして確認を受ける。

（６）高低差の計算

Ａ点を基準としたときの、Ｂ点及びＣ点の高低差を計算し、解答用紙に記入する。

（７）片付け

試験員の確認終了後、自動レベルと三脚は元の状態にし、元の位置にもどす。

4　作業上の注意

測量機器は精密機械なので、衝撃を与えないよう慎重に取り扱うこと。

令和９年度　島根県教育職員（実習助手）採用候補者選考試験問題

| 受　験　番　号 |
| --- |
| |

工業実習に関する実技　建築　解答用紙

課題１　標尺の目盛りの読み値

A 点　標尺の目盛の読み値

（実測値による）〔m〕

B 点　標尺の目盛の読み値

（実測値による）〔m〕

C 点　標尺の目盛の読み値

（実測値による）〔m〕

課題２　高低差

（１）B 点の高低差（A 点を基準の高さとする）

B 点が A 点より高い場合は正（＋）の値とし、B 点が A 点より低い場合は負（―）の値とする。

（当日の設定による）
〔m〕

（２）C 点の高低差（A 点を基準の高さとする）

C 点が A 点より高い場合は正（＋）の値とし、C 点が A 点より低い場合は負（―）の値とする。

（当日の設定による）
〔m〕